

中央処置室を開設



採血・注射を一元化し混雑緩和

採血・注射を一元化

五月十七日(月)から採血や注射などを「中央処置室」(※検査室横)で行うことになりました。

導入の大きな理由としては、血液などの搬送や採血行為そのものが多く、以前から当院においても

を「大目に触れない」よう、出来る限り『ライバシー』確保に努めるためです。また、各科外来スペースの混雑緩和にもなると思います。

新しい病院においては、このような形式を採用されているところが多く、以前から当院においても

ふれあい

第2号

平成16年7月22日

発行：滝川市立病院
滝川市大町2丁目2-34
TEL 0125-22-4311

編集：広報委員会

www.med.takikawa.hokkai.do.jp

検討していました。

みなさんご存知のとおり、当院は建物がかく狭いため、患者様をはじめ利用者の方々に、色々な面でご迷惑をおかけしておりますが、何とかやり繰りをして実施に至りました。

いずれにいたしましても、患者様のご理解がなくては、円滑に進めることが出来ませんので、今後ともご協力の程よろしくお願い致します。

ズ介(こん)にちは
一紹
リ棟
シ病
第2病棟
です

私たちの第2病棟は、主に外科と麻酔科の治療を目的とした患者様が入院されています。また、ICU(集中治療室)も併設され、手術を目的とした方、痛みのコントロールを目的とした方、集中治療の必要な方など、様々な患者様が入院されています。

第2病棟の職員は、外科医五人、麻酔科医五人、看護師三十二人、

今回の紙面

おしえて先生
暑い夏には気を
つけてください。
水虫のおはなし

【二面】

▼看護の日ってご存知ですか？

看護部

【二面】

▼もっと知ろう！あなたのおくすり

薬剤課

【五面】

▼当院のとおきレシピ

栄養グループ

【六面】

看護補助者四人、事務員一人で
当院の中で番スタツが多い病棟です。



第2病棟のみなさん

入院される患者様の多くは、短い方で一・二週間、長い方で一か月くらいで退院されます。不安の多い入院生活の中で、より良く過ごして頂くために患者様の考えをより反映した「共に考える看護計画」と言うものを始めています。

スタッフ一同、患者様が元気に退院されますよう、笑顔で日々看護業務に励んでいます。

胃腸の調子はいかがですか？



内視鏡室は、現在、消化器医師八人、看護師二人うち内視鏡技師一人、看護助手一人で、主に胃カメラ・大腸ファイバーなどファイバースコープを使用した検査を行っています。その中で食道静脈瘤硬化療法、静脈瘤に特殊な薬剤を注入し硬める、食道静脈瘤結紮術、静脈瘤を輪ゴムのようなものではばる、早期悪性腫瘍内視鏡的粘膜切除術、早期がんを内視鏡的に切除する、内視鏡的乳頭括約筋切開術、十二指腸にあるファイバー乳頭を切開して胆管にできた石を取り除くなどの内視鏡的には比較

シリーズ外来紹介 内視鏡室

的高度治療とされていることも行なっており、また、手術中の内視鏡使用時も立ち会い、幅広く活躍しています。

みなさん胃カメラと聞くと「苦しいからイヤだ」と言う方が多いようですが、最近はファイバーが以前よりかなり細くなっており飲み込みやすくなっています。胃腸の調子が良くない方は少しでも早く検査を受けることをお勧めします。

当内視鏡は、胃カメラが月二〇〇〜二五〇件、大腸ファイバーが月八〇〜一〇〇件、その他月二〇〜三〇件と四〇〇床位の病院ではとても多い件数となっています。また、夜間・休日は、月五〜八件と緊急力メ

内視鏡室のみなさん

素早く対応できるシステムを取り患者様の安全を一番に、日頃より努力しています。

当院では、日本消化器内視鏡技師会の洗浄・消毒のガイドラインに基づき検査機具や機材の洗浄・消毒を行っていますので、ご安心して検査を受けてください。

おしえて先生

水虫について

水虫は白癬菌、はくせんきん、というカビの皮膚感染症です。

白癬菌は高温、多湿を好むので冬期は症状がなくても夏期には再発し、不快な思いを繰り返す方も多いと思います。

ところで、水虫というところ、ムスする、痒いというイメージがあります。たしかに足の指の間がた

だれる趾間型、ひか

んがた、白癬、足底に小さな水ぶくれができる小水疱型白癬は痒みが強いです。

足底から踵部、ひ

よつぶ、にかけての角質が厚くなる角化

型白癬、爪が肥厚変形し混濁する爪白癬のように自覚症状のないものもあります。水虫は侮っている

と皮膚の傷口から雑菌が入りやすく、下腿が赤く腫れる場合もあります。また、厄介なことに異汗性

湿疹や掌蹠、ひょうせき、膿疱症などの別の疾患でも類似症状が出るため、水虫の薬をつけてかえって悪化することがあります。治療の前に皮膚科医に顕微鏡で病変部

水虫について

皮膚科医
渡邊 宏数

に白癬菌が存在するかどうか診察してもらい診断を確定してから治療することが重要です。

治療について

この水虫の治療についてですが、最近の外用剤は白癬菌に対する効果が強く、一日一回の外用で普通の水虫は充分治ります。1週間ほど外用して痒みがとれるともう



渡邊 宏数先生

内服薬、ラミシール、イトリゾールは爪白癬に非常に有効で高い確率で完治が望めます。ただし、他の薬剤との飲み合わせや肝障害などの副作用もあるので、必ず皮膚科医の指示に従って治療してください。

爪白癬について

最後に最近話題の爪白癬について解説します。爪も皮膚同様、白癬菌の標的になります。爪が先端から肥厚し、白濁してきたという方は要注意です。爪白癬ではカビは外用剤の染み込まない爪の下にいますので外用剤では根治は望めず、内服治療が必要になります。



上ラミシール 下イトリゾール



シリーズ 部署紹介

どこでもリハビリの場になります

リハビリテーション科

当院のリハビリテーション科は、患者様が受けられる治療によって、いくつかの部屋に分かれています。どこでどのようなことが行なわれているのか、簡単にをご紹介します。

作業療法

当院では、大きく分けると理学療法と作業療法の二つが行なわれています。

今年の春に新設された作業療法室は、作業療法士を含めたスタッフ一名が、精神科の患者様に対し、絵画や手工芸、パソコンなどの作業活動や病棟と協力してレクリエーション活動などを行なっています。

理学療法

理学療法は、三つの部屋に分かれて治療を行っています。物理



運動療法室



頸を牽引する機械

療法室では、三人のスタッフがおり、患部を温めたり、頸や腰の牽引、電気治療などを行なっています。理学療法受付もこの部屋にあります。同じ温める治療でも、お湯を使って温める過流浴は、水治療室で行なわれています。

運動療法室は四人の理学療法士が、関節を動かす練習や筋力をつける運動、歩く練習や寝返り・起き上がり・立ち上がりといった動作練習などを行なっています。

患者様によって必要な場合は、物理療法室と運動療法室を、ほしごされる方もいらっしゃいます。これらの部屋で治療を受けられる患者様のほかに、運動療法室に来ることができない患者様には、

リハビリテーション科のスタッフが病棟へ行き、病室や病棟の廊下などを運動療法室のように練習場所とすることもあります。

いくつかの療法室を持つ上に、院内のあちろちろが、リハビリの場になるのです。そして、私たちがいなくとも、患者様の心がけひとつで、どこでもリハビリの場になるのです。

訪問リハビリ

どこでもリハビリの場になるといえば、当院では専属の理学療法士一人が訪問リハビリを行なっています。患者様の生活の場という在宅で運動療法室とは違った環境の中、工夫しながら理学療法を行なっています。

いつでも、どこでも、どんな場面でも、その患者様にあったリハビリテーションのお手伝いを、させていただきたいと思っています。そんなスタッフがいます、リハビリテーション科です。



水治療室の機械

五月十二日は クリ

ミアの天使と言われ、後に近代看護学の普及に尽力したナイチンゲールの誕生日で、看護の日「ナイチンゲール記念日・一九九一年に厚生省が制定」になっています。

彼女は病人を救うのは宗教者の愛よりも衛生環境であるとして、近代的な看護理論と病院の衛生管理の指導・普及に多大な貢献をしました。彼女はまた、自然現象のみでなく社会現象も数字で把握することができるといふことを実証してみせ、幾つかのグラフを発明しました。彼女はそういう意味でクリミアの天使であっただけでなく、近代思想家でもあり数学者でもありフェミニストでありました。

看護の日の目的は、社会全体にケアの心が根付き、人の世話をする職業がどんなに大切なを理解して



「クリミアの天使」ナイチンゲール

看護の日って ご存知ですか？

頂く事です。

そのために当院では、看護の日委員会を設け、市民の方々に看護体験を通して看護の仕事を理解して頂く「ふれあい看護体験」や、地域に出での介護・健康相談など、年間を通し六つの行事を行っています。

七月は、高校生「日看護体験」を予定しています。この看護体験を通し、自分の進路を看護師に決定したという高校生が、毎年何名かいると聞き、私たちも微力ながらお力になれていることをうれしく感じています。しかし、まだ、知名度が低く、ご存じない方々も多くいらっしゃいます。今後広報活動を通し、PRしていきたいと思っています。

私達も皆様とのふれあいを通し、学ぶことが多くありますので、是非皆様の参加をお待ちしております。

紹介

作業療法室

皆さんはじめまして、作業療法士の鈴木です。

今年の五月末から、作業療法士と作業療法助手の二人体制で作業療法を実施しています。

皆さんには、この作業療法という言葉自体聞き慣れないと思いますので簡単に説明します。

作業療法 Occupational Therapy(以下OT)とは、身体または精神に障害のある者、または、それが予測される者に対してその主体的な活動の獲得を図るため、諸機能の回復・維持および開発を促す作業活動を用いて治療・指導・援助を行うことです。また、作業活動とは、日常生活の諸動作、仕事、遊びなど人間の生活全般に関わる諸活動をOTの「作業活動」と呼び、治療や援助もしくは指導の手段としています。



作業療法室1の風景

OTは、子供からお年寄りまで生活に障害を持つ全ての人のためにあります。医療をはじめ保健、福祉、教育、職業領域と幅広い分野で展開されています。

大きく分けて身体障害のOT、発達障害のOT、精神障害のOT、老年期障害のOTがあります。

当院ではここでいう精神障害のOT 精神疾患により生活に障害をもった方々に対し、個別あるいは



剣玉なども用意しています

は他の人たちの関わりや、具体的・現実的な作業活動 遊び、創作的なものから日常生活に関連するものまで」を利用し、精神機能の向上、対人関係能力の改善、作業能力の改善などを図り、その人にとってのより良い生活が送れるように指導・援助を行います。に該当し、第九病棟の患者様、精神神経科の外来患者様を対象にOTを行っています。

OT室は、一部屋あり「一番の部屋」が主に患者様が活動するスペースで、「一番の部屋」がスタッフルームとなっています。

第9病棟で作成 中庭新聞

第9病棟では、外へ行く機会が少ない方にも四季を感じてもらえるように、月二回中庭新聞を発行しています。

中庭新聞 第九号 七月八日発行 発行責任者 第五看護課長 スタッフ 佐藤 梅本、林、猪瀬、辻山	これなんなんだ? みなさんこんにちは。七月に入り、中庭の野菜たちは、少しずつ成長してきましたよ!さあ、この写真の野菜が何か、わかりますか? 真ん中の写真はわかりますね?まだ青いけど、トマトがなっています!下の写真はきゅうりです。きゅうりのツルがうまく伸びるように、棒が立っていますね。上の写真はジャガイモ。みなさんいくつ当たりましたか? サクラランボおいしかったよ! 中庭では、すでにサクラランボの収穫をしてみんなで食べました。酸っぱすぎず程よく甘みがあり、とてもおいしかったです。
毎日サクラランボ狩りに行く人もいたんですよ!また来年が楽しみです。	病棟自慢の真っ赤なバラ!!素敵ですね!!あまりにもきれいなので、写真大きくしてみました。

中庭新聞 平成16年7月8日

入口の外観とは異なり、部屋のな道員も用意してあります。

中はきれいで広く会議室を思わせる木目のテーブルに薄いグリーン椅子、そして二台の新しいパソコン、テレビが目に入ると思いま。また、棚にはスポーツ用品、カードゲームボードゲーム、ダーツ、オセロ、将棋、そして昔懐かしいの剣玉など様々なレクリエーション用具を始め、ミシンや裁縫セット、パッチワークなど手芸的

た居心地の良い場所、そして社会へ目を向けるきっかけの場になっていくことを期待しながら日々、頑張っています。

患者様はもちろんご家族の方、そして職員の皆さん、ぜひ一度OT室に遊びに来てください。少しでも多くの人に「OT」という言葉が伝わって、日常の会話にも聞かれる日が来ることを楽しみにしています。

もっと知ろう!あなたのおくすり

第二回基礎知識編 いろいろなくすりの形

おくすりにはいろいろな形があります。我々薬剤師はおくすりの形ののことを「剤形」と呼んでいます。今回は代表的な「剤形」を紹介します。



錠剤

○錠剤：おくすりの粉を一定の形に固めたものです。見ただけではわからないかもしれませんが、特殊な加工によりおなかの中でゆっくり溶けて効果を長持ちさせるようになっていて錠剤(徐放錠)や飲み込まずに舌の下で溶かす錠剤(舌下錠)があります。



カプセル剤

○カプセル剤：粉薬や液状のおくすりをカプセルの中に入れたものです。



散剤

○散剤：粉薬のことです。錠剤やカプセル剤をうまく飲みこめない患者様に適した剤形です。おくすりを作るときに細かい量の調節ができます。



シロップ剤

○シロップ剤：甘く味付けされている液状のおくすりです。小



軟膏剤

○軟膏剤：ぬり薬のことです。皮膚に使うものが一般的ですが、目に使う軟膏(眼軟膏)や口内炎を治すために口の中に使う軟膏もあります。



貼付剤

○貼付剤：じつぷなどの貼り薬のことです。肩こりや腰の痛みをやわらげるためのじつぷが多いですが、喘息や狭心症の予防を目的とした貼り薬もあります。



座剤

○座剤：坐薬のことです。主に肛門に入れて使います。

おくすりは腸から吸収されて全身に広がり、痛みをやわらげたり、熱を下げたりします。

その効果は飲み薬よりも早く現れます。また、痔の治療薬としても使われています。おくすりを飲

みこめない患者様にも使うことができます。



点眼剤

○点眼剤：目薬のことです。



吸入剤

○吸入剤：吸いこむタイプのおくすりです。おくすりは肺から吸収されます。主に喘息の治療薬として使われています。



含嗽剤

○含嗽剤：うがい薬のことです。液状のものが多くですが、粉薬を水に溶かして使用するものもあります。

今回紹介した以外にもおくすりの形はいくつかあります。もしかしたらみなさんにとって飲みづらい、使いづらいおくすりの形があるかもしれませんね。そんなときはおくすりの形を変えることができます。かかりつけの医師や薬剤師にご相談ください。



いろいろなおくすり

みなさんこんにちは放射線科です。

さて、今回は血管造影装置の紹介です。当院には一台設置されており、撮影する部位によって使い分けています。

舌で良いのでは?と思われるかもしれませんが、いつでも緊急検査ができる様にするためです。

ではどんな装置かというと、バリウム等の検査をする透視装置の発展型と思って頂いて結構です。特徴としてC型のアームの両端にX線照射

シリーズ

知ってますか?医療機器

第二回「血管造影装置」 放射線科

と受光部が付いていてあらゆる角度からの撮影ができ、患者様は動く必要がありません。さらに「秒間に三〇コマの連続撮影で動画を撮ることができます。また、DSA デジタル・サブトラクション・アンギオグラフィ」と言うデジタル技術により造影時の画像から造影前の画像を引き算することにより、造影された血管を、より細かく鮮明に見ることができただけで無く、放射線と造影剤の少量化により安全な検査を患者様に行うことができます。高度な良い装置です。



安全な検査ができる血管造影装置

当院のとっておきレシピ

栄養
グループ

暑さも疲れもノックアウト！
特製ジャージャーめん』はいかが？

今回のレシピはビタミンB1とアリシンの絶妙(?)な組み合わせで当院の夏のメニューに登場する『ジャージャーめん』です。

豚肉とニンニク・ネギ』パワーは夏バテ予防にぴったりです。比較的、手のかからない二品なので暑い日の食卓などにいかがでしょうか。

夏は冷房による体へのストレスや水分の摂りすぎなど、夏バテの原因は複雑です。

水分を多く摂ると胃液が薄まるので栄養素の吸収低下が起き、体調不良になったり糖分の多い水分だと、その糖分をエネルギーに変える際にビタミンB1が余分に消費されて不足するようになり、だるさ・むくみ・疲労などを感じるようになるのです。その夏バテ予防にはエネルギーや老廃物の代謝に関わるビタミンB群を一日の食事ですっかり補給しましょう。中

ジャージャーめん

材料四人分

中華麺	4玉
豚挽肉	160g
干椎茸	4g
たけのこ水煮	40g
生姜	20g
にんにく	1片
サラダ油	小さじ2杯
酒	小さじ1杯
みそ	大さじ4杯
醤油	大さじ1杯
オイスターソース	小さじ1杯
砂糖	小さじ2杯強
みりん	小さじ4杯
ごま油	小さじ1杯

夏バテ予防にジャージャー麺

胡瓜	160g
長葱	120g
コンソメの素	小さじ1杯
醤油	小さじ2杯強
コシヨー	適量
水	400cc
★	小さじ15cc・大さじ15cc

作り方

- ①長葱の白部分は繊維切り、青部分はみじん切りにする。
- ②胡瓜は繊維切り。
- ③竹の子・椎茸はみじん切りにする。
- ④生姜・にんにくは細かいみじん切りにする。
- ⑤鍋に油を熱し、生姜・にんにくを先に炒めてから、豚挽肉・椎茸・竹の子を入れ炒める。
- ⑥⑤にみそと他の調味料を入れ熱し、ごま油で風味をつける。
- ⑦⑥に長葱のみじん切りの方を加えて混ぜる。
- ⑧麺にかけるスープの材料を合わせ、冷やしておく。
- ⑨麺を茹で、よく水洗いして冷やした器に入れ、上に⑦・胡瓜・繊維切り長葱を盛り、⑧のスープをかける。

1人分の栄養価

熱量	約556kcal
たんぱく質	約21.8g
脂質	約11.3g
塩分	約2.3g

血液は血球 赤血球・白血球・血小板)という細胞成分と血漿という液体成分から成っています。血液検査部門では、この血球の量や形を調べたり、血漿の中にある血を固めたり溶かしたりするために働く、いろいろな成分の量を調べています。

血液の話

血液の話

●白血球はウイルスや細菌などの異物から体を守る細胞です。体が異物の攻撃を受けると骨髓で盛んに作られ、血液中での数が増えます。血液中の白血球の増減を知ることが体の状態を把握したり、病気の推定に役立ちます。

今日は、血球成分に関する検査や役割と何がわかるかの話をします。

●赤血球は骨髓で作られ、成分であるヘモグロビン(色素素)によって、体の各細胞に酸素を渡し、炭酸ガスを受け取って肺まで運びます。赤血球の数が増えると多血症といえます。逆に減ると貧血といいい、酸素の運搬量が減って体の各細胞が酸欠状態になり、全身でいろいろな障害が起ってきます。

●網状赤血球は若い赤血球です。量を調べることでより骨髓で赤血球がきちんと作られているかどうか分かります。

コスモス定食の紹介

保健センターの栄養士と交代で毎週火曜日に提供している「コスモス定食」の紹介です。

六月は市立病院が担当で「胃と歯を丈夫に」をテーマに、カルシウムたっぷりのメニューを提供しました。是非、火曜日は滝川の街並みが、望める市役所十階のレストランで体に優しいメニューを「賞味下さい」。

七月・九月のテーマの案内」



コスモス定食(6月)

七月、夏バテ予防メニュー
八月、貧血予防メニュー
九月、野菜たっぷりメニュー



ご意見の回答も掲示しています

みなさまの「意見」

▼入院して二日目くらいに騒音などで特別室を頼んだのですが、重症患者が使っているから高い部屋しか空いていないとのこと。

重症患者を入れる部屋と特別室は、空いているのに関わらず、「一緒にしてもらっては困る。」

回答Ⅱ特別室を希望されても満室の場合もあります。また、医師が治療上必要だと認めた場合には特別室を使用することになります。治療が優先のため、個室が必要な時など特別室を退室いただくこともあります。病院である以上治療を優先させていただきまのでご理解をお願いします。

◆
▼リハビリ室にイロイロと器具があるようですが、空いている時にでも普通の患者さんに解放して

もらえるといいと思います。

回答Ⅲリハビリ室には各種運動器具がありますが、これらの器具については、リハビリの必要がある方が、医師の指示の下に治療を目的に使用しているもので、一般の患者様への開放については難しいです。

◆
▼退院の時、荷物が多くなり、一人で何回も階段を降りなくてはなりません。スパーのようなカートのあればよいと思います。

回答Ⅳ「階正面玄関ロビーに荷物運び用カートを配置しております。ご利用ください。」

◆
▼整形外科受診の時、ブラジャーの上に小さなエプロンを着用させられたことは、非常に恥ずかしくて屈辱感さえありました。頸部だったので、襟ぐりの大きなTシャツを着用していたのですが、診察ではエプロンの格好をしくなくても十分だったように思います。これから何度かお世話になればならないのですが、考えてしまいます。是非ご回答をお願いいたします。

回答Ⅴ従来から、頸椎、腰椎

あなたの声を聞かせてください。

みなさまからの貴重なご意見をご紹介します

腰椎の診断には、神経学的診断のため、初めての診察時のみ、ご指摘の様に着替えて診察を受けていただいています。今回、貴重なご要望を頂き、早速検討させていただきました。診断方法も向上し、患者様に少しでも安心して診察を受けて頂くために、初診時の診察はTシャツもしくは、病衣着用に変更いたします。

◆
▼外来で入院手術と説明され、それからは不安の毎日でしたが入院し、皆様がとても優しく笑顔で接して下さい、少しずつ気持ちも変わってきました。

医療技術は勿論ですが患者の気持ちを受け入れ納得のいくまで話し合ってください、とても嬉しく安心して入院生活を送ることができました。

これからの苦しみでいる皆様を助けてあげてください。お世話になりました。先生のニコニコした笑顔忘れません。

回答Ⅵこれからの安心して入院できるよう努力いたします。

◆
▼「中央処置室」開設は、内科外来 待合、採血など」の混雑をかなり緩和いたしました。ちよ

としたアイデアの現実化で、こんなに効率を上げ出入りする人たちのイライラを解消するものかと感じました。予約受付台」の位置変更、中央処置室」の「採血」が、直「検査室へ」…流れがグンと良くなりました。いろいろのご配慮に感謝します。

ご要望などを広げいただき、患者様へのサービス向上を図っていきたいと思っております。また、院内の掲示板「コミュニケーションボード」を利用して、ご意見の回答や当院における取り組み状況考え方などを当院利用者に周知させていただきます。

意見箱増設

意見箱は、設置当初三か所でしたが、より多くのご意見・ご要望を頂くために、二か所の増設をしております。

▼増設場所▲

一、一階面談室内
二、三階面談室内

ご意見・ご要望をお待ちいたします。



ご意見をどうぞ

「ご意見」

お待ちしております

当院では、皆様からのご意見・

滝川市立病院

ホームページ公開中

www.med.takikawa.hokkai.do.jp

診察に便利な医師担当曜日一覧や各部門紹介など盛りだくさんですぜひご覧ください

滝川市立病院の役割

当院は、自治体が設立した地域に根ざした病院として、積極的に他の医療機関等と連携し、地域の医療水準を向上させると共に、住民の健康の維持・増進を図り、患者様一人ひとりが、一日も早くその人にふさわしい充実した生活を送ることができるよう支援してまいります。